



ft_communication

Enjoy your remote learning!

Summary: この課題は、リモート環境で学習が孤立しやすい学生同士に交流の機会を提供し、コミュニケーションできる学生を増やすことが目的です。バックグラウンドの異なる相手とのコミュニケーションをとる方法を学びます。

Contents

I	Instructions	2
II	Foreword	3
III	General rules	4
IV	Exercise 00 : 自己紹介	5
V	Exercise 01 : これまでのこと	6
VI	Exercise 02 : これからのこと	7
VII	Bonus part	8

Chapter I

Instructions

リモート学習は、42Tokyoに限らず多くの学生にとって、学校が学習の場というだけでなく、友人との大事なコミュニケーションの場であったことを強く思い出させる体験になりました。

その代わりに得られたものもあります。

- 校舎に通う満員電車から解放される！
- 好きな（リラックスした）格好で自宅から交流ができる
- 日本全国（海外も？）どこに住んでいても学習が続けられる

あなたが在学中に、オフラインでみんなに会うことはできないかもしれませんが、そのまま卒業してしまってもったいない！

この課題を通じてコミュニケーションを学び、多くの学生と交流の輪が広がることを願っています。

Chapter II

Foreword

2020年から始まったリモート学習は、インターネットに接続できればどこでも学習できるメリットがある反面、オフライン学習と比べて学生同士のコミュニケーションが取りにくく孤立してしまいがちです。

この課題の目的は、ピアレビューを利用して、学生同士の交流の機会を持つことで、相談できる仲間を増やすことです。

ここでは、初めて会う人とのコミュニケーション方法を学びます。世間話や雑談とは異なり、お互いのことを知る会話を体験します。

- 初めて会う人と、短時間でお互いのことを深く知れるようになる
- 知り合いの（話しかけられる）学生が増えることで、学習で困ったときに相談しやすくなる
- 学生同士の紹介により、同じ目標を持った学生との繋がりが生まれる
- 他人の学習への思いを知ることで、刺激を受けてモチベーションを生み出す
- 自分のことを説明することで、自分自身の考えや感情に気づく

など、オンライン学習におけるコミュニティ全体のコミュニケーション活性化が狙いです。

Chapter III

General rules

- この課題では、提出物はありません。
- レビューを受ける前に、Exerciseの内容について、自分の考えをまとめておいてください。
- メモを取ることをお勧めしますが、あくまでも自分の考えを整理するためであって、レビュー中に読み上げることが目的ではありません。
- この課題のレビューは十分に時間がある時に行なってください。お互いのことを知るのに15分では足りません。

Chapter IV

Exercise 00 : 自己紹介

- 3分程度で自己紹介をしてもらいます。
- レビューerは初めて会う相手かもしれませんが、同じプログラミングを学ぶ学生でもあります。相手に知っておいて欲しい自分のバックグラウンドを簡潔にまとめておいてください。
- 印象的なキーワードが含まれていると、相手に覚えてもらいやすいです。



小学校から今までの細かい経歴を全て話す必要はありません。自分自身を知ってもらう上で大事なエピソードが一つあれば十分です。

Chapter V

Exercise 01 : これまでのこと

- 42Tokyo に入学しようと思った理由、プログラミングを学ぼうと思った動機など、について話してもらいます。



何のために、何を体験したくて42Tokyoに入ったのか、思い出してみてください。

Chapter VI

Exercise 02 : これからのこと

- 42Tokyo を卒業したらやりたいこと、について話してもらいます。



働きたい会社でも、働き方でも、作ってみたいサービス、やってみたい活動、何でも構いません。現実的な課題からいったん離れて、自由に思い浮かべてください。

Chapter VII

Bonus part

- レビューワーについて、聞き手となってex00からex02の話を聞いてみます。